

商用ISPの登場

Beginning of commercial ISPs

NTTグループにおける商用ISPの取り組み

1993年には日本国内でもインターネット接続事業者 (ISP) がサービスを開始しました。NTTグループでは、1995年1月にNTTPCコミュニケーションズが、インターネット接続サービス「InfoSphere」を提供開始しました。

当初の接続形態は、常時接続 (~1.5Mbpsの専用線、INSネット64) と、ダイヤルアップ接続 (14.4Kbps~64Kbps) による従量制で、メールアドレスの他、ホスティング (後のWebARENA) も提供していました。また、他ISPへのアクセスポイント提供や代理認証を行うホールセール事業、データセンタ事業等、インターネットにおける新たなサービスを創出しました。

その後、1995年6月には、NTTデータが企業向けに「InterVia」を、12月には一般向けに「ドリームネット」をそれぞれ開始しました。

ISP : Internet Service Provider